

## 「等迦会」展 第54回定期絵画展が開かれました

—— 蒲原勝美さん(電気 38 年) が会長に就任

令和4年2月19日、「等迦会」展へ行ってきました。

会場で石堂会長と偶然にもお会いしました。

蒲原さん(電気38年)、石堂さんと3人で談笑し、作品の前で記念撮影をしました。

「等迦会」は大正15年に芸大西洋画科卒のグループ展として旗揚げし、昭和40年に再興された歴史ある会です。全国に東部地区部と中部地区部の他12の支部があり、支部活動も盛んに行われています。(【NEW】美術団体・等迦会 - 等迦会ホームページ (toka-kai.com))

全国から作品を公募し、文部科学大臣、東京都知事、毎日新聞 はじめ多くの団体や個人から賞を戴く、権威ある美術集団です。現在、蒲原さんは会の会長として頑張っておられました。

今回の蒲原さんの作品は「冬港暮色」、白老の港を描いたものです。後ろには大昭和製紙白老工場が描かれています。蒲原さんは、これまで一貫して北海道の海をテーマに作品を発表しています。

また昨年10月には銀座で「蒲原画伯個展」があり、吉田副会長と一緒にってきました。精力的に創作活動、「等迦会」運営に取り組んでいる蒲原さんの活躍から目が離せません。

駒米 隆(顧問)

### もう一人目を離せない写真家

雨野勝彦さん(電気34年)

目が離せない同窓生写真家があります。

本ホームページで何度か紹介していますが、雨野勝彦さんが主宰する「満月クラブ」が、年2回写真作品発表会が川越・霞ヶ関で開催されています。毎回、吉田副会長と訪れています。

そして、毎回川越名物のウナギ屋(当然ワリカン)で盛り上り、川越探索をしていましたが、ここ2年はコロナのため寂しい思いをしています。

駒米 隆(顧問)

